



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月16日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ブロンコビリー

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 古田 光浩

TEL 052-775-8000

四半期報告書提出予定日 平成25年10月25日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	8,542	13.0	1,172	12.7	1,182	12.2	670	6.1
24年12月期第3四半期	7,560	4.3	1,040	△7.0	1,053	△6.7	631	12.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	101.10	—
24年12月期第3四半期	95.26	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
25年12月期第3四半期	8,473		6,879	81.2		1,037.68
24年12月期	7,763		6,372	82.1		961.15

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 6,879百万円 24年12月期 6,372百万円

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	20.00	—	28.00	48.00
25年12月期	—	24.00	—		
25年12月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。現在、期末配当金につきましては12円を想定して検討中であります。決定次第、適時開示にてお知らせいたします。

### 3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	15.2	1,600	14.0	1,620	13.1	955	9.8	144.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	6,630,000 株	24年12月期	6,630,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	216 株	24年12月期	106 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	6,629,828 株	24年12月期3Q	6,629,917 株

(注)当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れの懸念等依然として先行き不透明な状況となっておりますが、円安・株高が進行する等、景気回復への明るい兆しが見られ、高額品を中心として消費マインドの改善が見られるようになりました。

外食産業におきましては、価値を重視し高額でも許容する消費傾向がみられ、特に「ハレの日」にはお金を使う一方、日常の食事は価格重視の傾向と、二極化した競争の状況となっており、さらに中食を含めた熾烈な競争が深まっております。また、原材料価格の高騰等があり、業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

当社では、このような環境の下「お客様の立場で顧客創造」の企業理念に基づき、ご家庭では味わうことができない料理とサービスを価値と価格のバランスを取りながら提供する「ご馳走レストラン」のコンセプトを確固たるものにするべく、食材の調達力、商品開発と加工力、調理技術、接客サービスの強化に取り組んでまいりました。

その成果として当第3四半期累計期間では、売上高前年同期比13.0%増（既存店売上高前年同期比4.5%増）、四半期純利益前年同期比6.1%増と過去最高の業績を達成することができました。

メニュー政策では「価値と価格の両面でご満足いただけるメニュー作り」を実施いたしました。2月はメニュー改定に伴い、人気を博した680円（税別）のブロンコハンバーグランチを580円（税別）で復活させました。3～4月では当社の看板商品であるぶどう牛の肩ロースステーキのカット方法を見直し「熟成ぶどう牛炭火炙り焼きステーキ」としてランチメニューに導入、7月にはディナーメニューにも追加いたしました。さらに繁忙月の8月には期間限定でぶどう牛コンビメニューを導入し、お客様の嗜好等に合わせた柔軟なメニュー政策を実施してまいりました。

製造面では、品質の安定・向上と原価及び店舗人件費の低減のため、4月より全店舗で大かまどに炊飯制御ユニット自動タイマーの導入と、自社工場でハンバーグポーション機械化を稼働、さらに9月にはステーキを自動で切り分けるステーキポーションカッターを導入いたしました。

販促面では、ご好評いただいておりますキッズクラブで、お誕生日企画に加え卒園や夏休みといった来店動機が高まる時期にDM販促を実施し、再来店促進と顧客作りの強化に取り組みました。また「ハレの日」需要の取り込みとして「母の日」及び「父の日」企画にも取り組みました。

店舗面では、新設した店舗建設部により、新店舗、改装店舗ともにコスト削減にも取り組みながら千葉県初出店となる東千葉店をはじめ、沼津店（静岡県）、小田原店（神奈川県）、西尾店（愛知県）、高針店（愛知県）の5店舗を出店しました。また既存店活性化として、店舗改装を7店舗実施いたしました。一方で2店舗を閉鎖し平成25年9月末の店舗数は73店舗となりました。

以上の結果、売上高85億42百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益11億72百万円（同12.7%増）、経常利益11億82百万円（同12.2%増）、四半期純利益6億70百万円（同6.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は84億73百万円（前事業年度末77億63百万円）となり7億10百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が5億19百万円及び出店等により有形固定資産が2億35百万円増加したこと等によります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は15億94百万円（前事業年度末13億91百万円）となり2億2百万円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金が1億61百万円及び賞与引当金が89百万円増加した一方、法人税等の納付により未払法人税等が1億32百万円減少したこと等によります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は68億79百万円（前事業年度末63億72百万円）となり5億7百万円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払等により繰越利益剰余金が4億99百万円増加したこと等によります。

なお、自己資本比率は81.2%（前事業年度末82.1%）となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年1月17日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,976,581	3,495,882
売掛金	68,333	71,021
商品及び製品	42,387	28,989
原材料及び貯蔵品	191,715	135,485
その他	217,508	180,522
流動資産合計	3,496,525	3,911,901
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,431,997	2,537,889
構築物（純額）	225,178	243,979
工具、器具及び備品（純額）	297,025	328,787
土地	276,207	276,207
その他（純額）	76,176	155,235
有形固定資産合計	3,306,586	3,542,099
無形固定資産	86,271	82,603
投資その他の資産		
差入保証金	576,608	622,756
その他	297,585	314,345
投資その他の資産合計	874,194	937,101
固定資産合計	4,267,052	4,561,804
資産合計	7,763,577	8,473,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,403	214,439
短期借入金	96,552	258,334
未払金	399,605	418,075
未払法人税等	323,670	190,842
賞与引当金	16,423	105,975
販売促進引当金	32,877	30,912
その他	102,506	147,193
流動負債合計	1,176,038	1,365,771
固定負債		
資産除去債務	196,042	207,258
その他	19,147	21,055
固定負債合計	215,190	228,313
負債合計	1,391,228	1,594,085

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	4,849,606	5,347,477
自己株式	△112	△325
株主資本合計	6,366,168	6,863,827
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,180	15,793
評価・換算差額等合計	6,180	15,793
純資産合計	6,372,349	6,879,620
負債純資産合計	7,763,577	8,473,705

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,560,979	8,542,116
売上原価	2,027,027	2,348,539
売上総利益	5,533,952	6,193,577
販売費及び一般管理費	4,493,522	5,021,423
営業利益	1,040,430	1,172,153
営業外収益		
受取利息	1,450	1,585
受取配当金	1,198	1,327
受取賃貸料	16,790	17,010
受取保険金	6,264	1,190
協賛金収入	9,289	9,311
その他	4,195	2,451
営業外収益合計	39,189	32,877
営業外費用		
支払利息	538	643
賃貸費用	16,636	18,418
盗難損失	4,939	—
その他	3,679	3,338
営業外費用合計	25,793	22,400
経常利益	1,053,826	1,182,630
特別利益		
固定資産売却益	1,000	2,000
災害保険金収入	89,101	—
特別利益合計	90,101	2,000
特別損失		
固定資産除売却損	2,161	2,432
減損損失	3,648	—
災害による損失	35,171	—
店舗閉鎖損失	—	52,059
特別損失合計	40,981	54,491
税引前四半期純利益	1,102,946	1,130,139
法人税、住民税及び事業税	479,733	482,474
法人税等調整額	△8,359	△22,582
法人税等合計	471,374	459,891
四半期純利益	631,571	670,247

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。